



2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3726 URL http://www.4cs-holdings.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洲崎 智広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 部長 (氏名) 内野 紗希 (TEL) 092-720-5460
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,409	△15.5	△193	—	△189	—	△233	—
2018年9月期第3四半期	1,668	△20.8	54	△43.9	47	△68.6	△2	—

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 △233百万円(—%) 2018年9月期第3四半期 △2百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2019年9月期第3四半期	円 銭 △34.24	円 銭 —
2018年9月期第3四半期	円 銭 △0.43	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2019年9月期第3四半期	百万円 2,659	百万円 1,172	% 44.5
2018年9月期	百万円 3,170	百万円 1,434	% 45.1

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 1,183百万円 2018年9月期 1,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2018年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2019年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —		
2019年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2019年9月期の配当予想につきましては未定です。

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,900	△15.5	△279	—	△264	—	△350	—	円 銭 △50.97	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	6,973,470株	2018年9月期	6,973,470株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	192,950株	2018年9月期	106,710株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	6,809,895株	2018年9月期3Q	6,867,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善、設備投資の増加等を背景に、緩やかな回復基調の動きが続いております。一方で、米中貿易摩擦の激化など国際経済の不確実性も依然として懸念されており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中長期的な更なる成長に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,409,543千円（前年同四半期比15.5%減）、営業損失193,867千円（前年同四半期は営業利益54,742千円）、経常損失189,515千円（前年同四半期は経常利益47,058千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失233,203千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2,938千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(コミュニケーション・セールス事業)

コミュニケーション・セールス事業におきましては、新たな顧客層の取り込みを図るためマスメディアを使った広告宣伝による先行投資を行っておりますが、依然として新規顧客の獲得に苦戦する状況が続いております。その他、Web・スマホ対応にも注力してまいりました。これにより売上高928,989千円（前年同四半期比18.1%減）、セグメント損失231,421千円（前年同四半期はセグメント損失12,571千円）となりました。今後、コミュニケーション・セールス事業の営業効率の向上及びコスト削減を図ることを目的とし、2019年6月21日の当社取締役会にて、株式会社フェヴリナを存続会社、株式会社サイエンスボーテを消滅会社とする連結子会社間の合併を決定しております。

(化粧品卸事業)

化粧品卸事業におきましては、前連結会計年度に行いました古くなった角質除去するための製品『ナチュラルアクアジェル』のパッケージリニューアルに伴う返品やインバウンド需要の低下等により、売上高483,032千円（前年同四半期比10.1%減）となりました。今後は、認知度を高めるため広告宣伝費の投下やPRの強化、今年2月に発売した時間をかけずにキレイを叶える新ブランド『JITANNO（ジタンノ）』の販売促進にも注力してまいります。以上のことからセグメント利益73,317千円（前年同四半期比44.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は2,659,899千円（前連結会計年度末3,170,416千円）、その内訳は流動資産2,078,433千円、固定資産581,465千円となり、前連結会計年度末に比べ510,516千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少461,104千円、売掛金の減少68,045千円、商品及び製品の増加32,794千円、のれんの減少34,887千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は1,487,745千円（前連結会計年度末1,735,590千円）、その内訳は流動負債783,354千円、固定負債704,391千円となり、前連結会計年度末に比べ247,845千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少21,416千円、返品調整引当金の減少22,018千円、株主優待引当金の減少37,773千円、長期借入金の減少107,211千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,172,154千円（前連結会計年度末1,434,825千円）となり、262,671千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失233,203千円の計上、自己株式の増加30,243千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年2月13日に公表いたしました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,942,953	1,481,848
売掛金	178,729	110,684
商品及び製品	313,430	346,225
原材料及び貯蔵品	19,110	38,345
その他	38,271	101,335
貸倒引当金	△34	△4
流動資産合計	2,492,461	2,078,433
固定資産		
有形固定資産	33,121	48,827
無形固定資産		
のれん	118,216	83,329
顧客関連資産	334,500	308,769
その他	80,984	89,337
無形固定資産合計	533,700	481,435
投資その他の資産	111,133	51,202
固定資産合計	677,955	581,465
資産合計	3,170,416	2,659,899
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,570	46,691
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	142,948	142,948
未払法人税等	27,177	5,760
賞与引当金	9,000	7,650
返品調整引当金	24,063	2,045
株主優待引当金	41,699	3,926
その他	143,320	124,332
流動負債合計	889,779	783,354
固定負債		
長期借入金	727,862	620,651
資産除去債務	17,202	17,238
その他	100,747	66,501
固定負債合計	845,811	704,391
負債合計	1,735,590	1,487,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	348,117	348,807
利益剰余金	228,062	△5,141
自己株式	△30,392	△60,636
株主資本合計	1,428,575	1,165,818
新株予約権	6,249	6,335
純資産合計	1,434,825	1,172,154
負債純資産合計	3,170,416	2,659,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,668,063	1,409,543
売上原価	391,975	329,558
売上総利益	1,276,087	1,079,984
返品調整引当金戻入額	825	24,063
返品調整引当金繰入額	869	2,045
差引売上総利益	1,276,044	1,102,003
販売費及び一般管理費	1,221,301	1,295,870
営業利益又は営業損失(△)	54,742	△193,867
営業外収益		
受取利息	2,945	28
受取賠償金	—	12,899
解約返戻金	—	1,122
その他	1,243	746
営業外収益合計	4,189	14,796
営業外費用		
支払利息	11,728	10,292
その他	146	152
営業外費用合計	11,874	10,445
経常利益又は経常損失(△)	47,058	△189,515
特別利益		
新株予約権戻入益	—	240
特別利益合計	—	240
特別損失		
減損損失	—	10,798
その他	—	1,201
特別損失合計	—	12,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	47,058	△201,276
法人税、住民税及び事業税	26,733	2,413
法人税等調整額	23,262	29,514
法人税等合計	49,996	31,927
四半期純損失(△)	△2,938	△233,203
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,938	△233,203

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△2,938	△233,203
四半期包括利益	△2,938	△233,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,938	△233,203
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セ ールズ事業	化粧品 卸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,130,640	537,422	1,668,063	—	1,668,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,334	36	3,370	△3,370	—
計	1,133,975	537,458	1,671,433	△3,370	1,668,063
セグメント利益又は損失(△)	△12,571	132,700	120,128	△65,386	54,742

当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コミュニケーション・セ ールズ事業	化粧品 卸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	928,557	480,885	1,409,443	100	1,409,543
セグメント間の内部売上高又は振替高	432	2,146	2,578	△2,578	—
計	928,989	483,032	1,412,021	△2,478	1,409,543
セグメント利益又は損失(△)	△231,421	73,317	△158,103	△35,763	△193,867

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
報告セグメント計	120,128	△158,103
全社収益(注)1	173,700	202,600
全社費用(注)2	△177,726	△195,840
その他の調整額	△61,359	△42,523
四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)	54,742	△193,867

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及び受取配当金であります。

2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。